

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 05-147873
(43)Date of publication of application : 15.06.1993

(51)Int.Cl. B66B 11/02
H01H 9/02
H05K 5/02

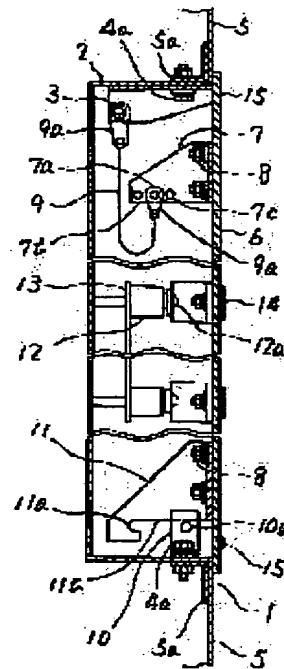
(21)Application number : 03-309022 (71)Applicant : TOSHIBA CORP
(22)Date of filing : 25.11.1991 (72)Inventor : TOJO HIDETOSHI

(54) IN-CAGE CONTROL PANEL FOR ELEVATOR

(57) Abstract:

PURPOSE: To provide an elevator cage control panel that is easily maintainable even in the case where a handrail is installed in the cage.

CONSTITUTION: A face plate 6 is made possible to be opened or closed by a hinge mechanistic part installed in a box lower part, and an interval between two brackets 3 and 7 installed each in a box upper part and a face plate upper part is engaged tight by an engager 9 being free of expansion or flection, through which the face plate is made so as to be opened in the vertical direction.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 27.02.1997

[Date of sending the examiner's decision of rejection]

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number] 2825380

[Date of registration] 11.09.1998

[Number of appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平5-147873

(43) 公開日 平成5年(1993)6月15日

(51) Int. C.I. ⁵	識別記号	府内整理番号	F I	技術表示箇所
B 6 6 B 11/02	N	6573-3 F		
H 0 1 H 9/02	E	7826-5 G		
H 0 5 K 5/02	B	6736-4 E		

審査請求 未請求 請求項の数 1

(全4頁)

(21) 出願番号 特願平3-309022

(22) 出願日 平成3年(1991)11月25日

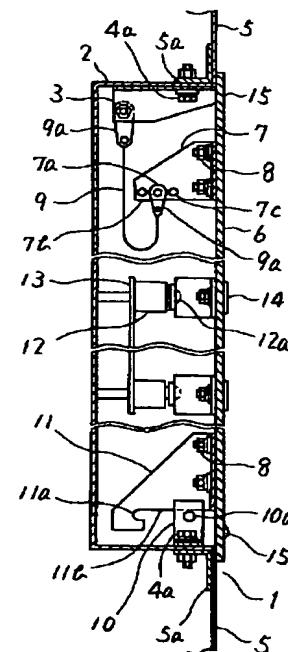
(71) 出願人 000003078
株式会社東芝
神奈川県川崎市幸区堀川町72番地
(72) 発明者 東條 秀俊
東京都府中市東芝町1番地 株式会社東芝
府中工場内
(74) 代理人 弁理士 則近 憲佑

(54) 【発明の名称】エレベータのかご内操作盤

(57) 【要約】 (修正有)

【目的】 本発明の目的は、かご内に手摺を設けた場合でも容易にメンテナンスが可能なエレベータのかご内操作盤を提供することにある。

【構成】 本発明は、ボックス下位部に設けられたヒンジ機構部により、フェースプレート6を開閉可能とし、前記ボックス上位部及び前記フェースプレート上位部にそれぞれ設けられたブラケット3、7間を伸縮自在もしくは屈曲自在の係止具9により係止することにより、縦方向にフェースプレートを開放させるようにする。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 フェースプレートがヒンジ機構部を介してボックスに開閉自在かつその前後方向に摺動自在に支持されて成るエレベータのかご内操作盤において、前記ボックス下位部に縦方向の開閉を可能とするヒンジ機構部を設け、前記ボックス上位部及び前記フェースプレート上位部ボックス側にそれぞれブラケットを設け、一端が前記ボックス上位部の前記ブラケットに係止され、他端が前記フェースプレート上位部ボックス側の前記ブラケットに係止された伸縮自在もしくは屈曲自在の係止具を設けたことを特徴とするエレベータのかご内操作盤。

【発明の詳細な説明】**【0001】**

【産業上の利用分野】 本発明は、エレベータのかご内操作盤に関わり、特にフェースプレートの開閉機構に関する。

【0002】

【従来の技術】 従来のエレベータのかご内操作盤は、フェースプレートに扉開閉釦や行先階呼び登録釦等を設け、このフェースプレートは、かご内側板の所定の位置に設けられた表示ランプ等を収納するボックスにヒンジ機構を介して左右に開閉自在に取り付けられている。そして保守員は、かご内操作盤の表示ランプ交換等のメンテナンス時に、フェースプレートをヒンジ機構を介して開放し、かご内操作盤のメンテナンスを行っていた。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】 しかしながら、従来のかご内操作盤においては、かご内に手摺を設けた場合に、フェースプレートが手摺に接触したりして、左右に開閉することが困難であった。この様な場合には、フェースプレートをボックスから完全に取り外してメンテナンスを行うしかなく、フェースプレートの重量の大きいものについてはさらに作業の困難性が増し、二人作業となることもあり、メンテナンスに要する時間や費用といった面で能率的、経済的に問題があった。そこで、本発明の目的は、かご内に手摺を設けた場合でも容易にメンテナンスが可能なエレベータのかご内操作盤を提供することにある。

【0004】

【課題を解決するための手段】 本発明は、以上の目的を達成するためにフェースプレートがヒンジ機構部を介してボックスに開閉自在かつその前後方向に摺動自在に支持されて成るエレベータのかご内操作盤において、前記ボックス下位部に縦方向の開閉を可能とするヒンジ機構部を設け、前記ボックス上位部及び前記フェースプレート上位部ボックス側にそれぞれブラケットを設け、一端が前記ボックス上位部の前記ブラケットに係止され、他端が前記フェースプレート上位部ボックス側の前記ブラケットに係止された伸縮自在もしくは屈曲自在の係止具を設けたエレベータのかご内操作盤を提供する。

【0005】

【作用】 本発明によれば、ボックス下位部に設けられたヒンジ機構部により、フェースプレートを開閉可能とし、前記ボックス上位部及び前記フェースプレート上位部にそれぞれ設けられたブラケット間を伸縮自在もしくは屈曲自在の係止具により係止することにより、縦方向にフェースプレートを開放させるようになることができる。

【0006】

10 【実施例】 以下本発明の実施例を図1乃至図7を用いて説明する。

【0007】 本発明のかご内操作盤1は、かごの側板5に設けられ表示用ランプ12a等の機器を収納するボックス2と、ボックス2の開口部を覆い、扉開閉釦や行先階呼び登録釦等を設けたフェースプレート6と、ボックス2とフェースプレート6を開閉自在にするヒンジ機構部と、ボックス2及びフェースプレート6に設けられ、フェースプレート6の開閉動作を抑止するチェーン9を係止するブラケットとから構成されている。

20 【0008】 そして、かご内操作盤1のボックス2内の上面部には、チェーン9の一端を係止するブラケット3を取り付け、ボルト4aにてボックス2と共にかごの側板5に設けられた側板用ブラケット5aへ取付けられている。フェースプレート6には、チェーン9の他端を係止するブラケット7がナット8で取付けられている。ボックス2内の下面には、ヒンジ機構部の支点を設けたブラケット10が設けられ、ブラケット3と同様にボルト4aにて側板用ブラケット5aにボックス2と共に取付けられている。ブラケット10には、ヒンジ機構の支点となる

30 ピン10aがかしめ10bで取付けられている。フェースプレート6には、ヒンジ機構としてヒンジプレート11がナット8にて取付けられていて、ヒンジプレート11には、ピン10aと係合する切欠き溝11aと、ピン10aと摺動可能な切欠き直線部11bが設けられている。又、ボックス2にはランプ12aの組込まれたスイッチ12等が取付板13に取付けられていて、フェースプレート6のかご内側には押釦14が取付けられている。この様に構成されたフェースプレート6は、化粧ネジ15でボックス2の支柱2aのネジで取付けられる。次に、かご内操作盤1のメンテナンス側としてランプ12aの交換時の動作について説明する。

【0009】 まず、保守員は図1に示すような状態から化粧ネジ15を外し、図2に示す様にフェースプレート6を手前に引出す。このとき、ヒンジプレート11の切欠き直線部11bがピン10a上を摺動することになる。そして、ヒンジプレート11の切欠き溝11aがピン10aと係合するとフェースプレート6の引出し操作が完了する。次にフェースプレート6を、ヒンジプレート11の切欠き溝11aと係合しているピン10aを支点にして図3に示すように、さらに手前に引き出し、チェーン9が緊張したと

- ところで引出し操作を完了させる。この状態でランプ12aを交換し、ランプ12aの交換終了後は前述と逆の操作により、メンテナンスが完了することになる。この様に、かご内に手摺16が取付けられている場合においても、簡単にメンテナンスを行うことができる。

【0010】尚、フェースプレート6の手前に開く角度θは、チェーン金具9aをブラケット7の穴7a, 7b, 7cの任意の位置にナット19、座金20、蝶ボルト21で取付ることにより適宜変えることができる。又、本実施例では、ブラケット3とブラケット7を係止するための係止具としてチェーン9を使用しているが、ロープ等を使用してもかまわない。

【0011】

【発明の効果】以上本発明によれば、かご内に手摺を設けた場合でも容易にメンテナンスが可能なエレベータの

かご内操作盤を提供することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明のかご内操作盤の構成を示す断面図である。

【図2】本発明のかご内操作盤の動作説明図である。

【図3】本発明のかご内操作盤の動作説明図である。

【図4】図2におけるC-C矢視図である。

【図5】図2におけるD-D矢視図である。

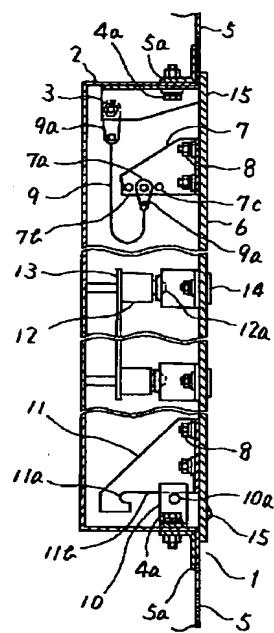
【図6】図2におけるE-E矢視図である。

【図7】図2におけるF-F矢視図である。

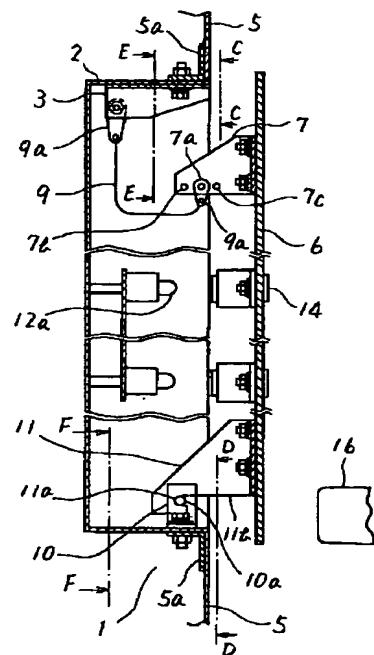
【符号の説明】

1…かご内操作盤、2…ボックス、3…ブラケット、6…フェースプレート、7…ブラケット、9…チェーン、10…ブラケット、10a…ピン、11…ヒンジプレート。

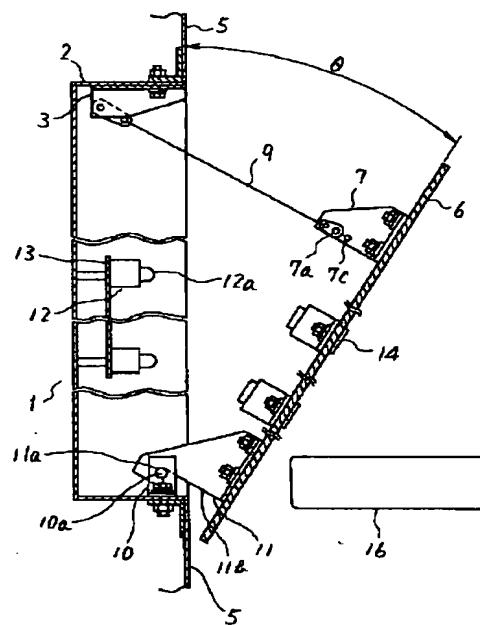
【図1】



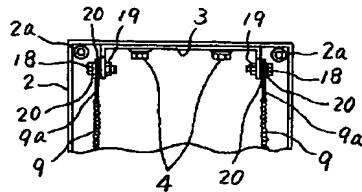
【図2】



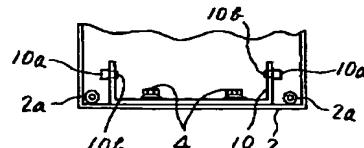
【図3】



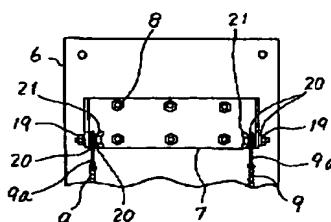
【図4】



【図5】



【図6】



(4)

特開平5-147873

【図7】

